

多摩地域の産業総合支援拠点

東京・昭島にオープン

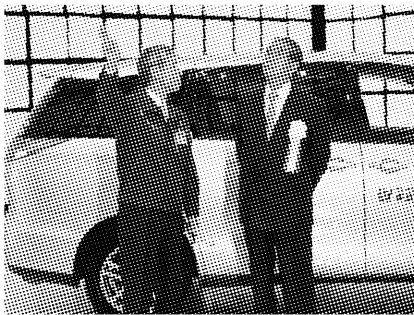
東京都は22日、東京都昭島市に多摩地域の産業総合支援拠点「産業サポートスクエア・TAM

A」をオープンした。開所式には石原慎太郎知事のほか、高原一郎関東経済産業局長、桂教夫東京都商工会連合会会長らが参加した。同スクエアには、今まで多摩地域に分散していた東京都立産業技術研究センター、東

京都中小企業振興公社、東京都商工会連合会の3拠点を集結。技術と経営の両面から、多摩地域の中小企業を支援する体制を整えた。

所が隣接し、農工連携の活発化も期待される。石原知事はオープンに際して、電磁波の影響を半径10分の範囲で調べられるEMC（電磁環境適合性）試験室を視察。「名

もなき中小企業の新たな着想こそが日本の力。その着想を形にするために、この施設をいかに活用してほしい」と多摩の中小企業に語りかけた。



都立産技研のEMCサイトを視察する石原知事（左）と片岡正俊都立産技研理事長

なかでも都立産技研は自動車や電機、半導体など多摩地域の産業特性を踏まえた最新鋭の試験設備群を導入。職員数も増強し、中小企業の製品開発力強化に取り組み。また同スクエアには東京都農林水産振興財団の研究